

子育て家族支援で 内閣総理大臣表彰

内閣府の「子ども若者育成・子育て支援功労者表彰」で最高賞の内閣総理大臣表彰を受賞した社会福祉法人「安岐の郷」の小林習一理事長と高橋とし子総合施設長が、12月6日(火)、市役所を訪れ三河明史市長に受賞を報告しました。

子育て支援などの取り組みで功績のあった企業や団体、個人を表彰するもので、内閣総理大臣表彰には全国で4団体が選ばれました。

同法人では、仕事と家庭の両立支援として、従業員のライフスタイルに応じた多様な勤務体制の導入、365日開設の事業所内託児所の設置、子育てを支援する有給休暇制度の導入などを進めてきました。また、廃校となった旧朝来



(左から) 三河市長、高橋総合施設長、小林理事長

小学校で、月に1回「100円居酒屋」を開設するなど地域コミュニティの活性化に寄与したことも評価されての受賞となりました。

市立養護老人ホーム 「くにさき地区」 おたのしみ行事

くにさき地区 難病者友の会が訪問

11月22日(火)、くにさき地区難病者友の会(畑野光子会長)の皆さんがくにみ苑を訪問し、相撲甚句、詩吟、歌、踊りなどを披露しました。

また、友の会会員の手作りメッセー



ジ付き飾り玉やカレンダーなどを入苑者にプレゼントし、交流を深めました。会場では、地元ボランティアの皆さんによるお茶の接待も行われました。

別府自衛隊による もちつきと音楽演奏

12月20日(火)、陸上自衛隊別府駐屯地の隊員がくにみ苑を訪問しました。市立特別養護老人ホーム姫見苑の皆さんも見学にやってきました。もちつきでは、隊員が



「よいしよよいしよ」の掛け声にあわせて力強くきねをつき、柔らかいお餅ができあがりました。続いて音楽隊による演奏が行われ、懐かしい歌謡曲が流れると、会場からは大きな拍手がおこりました。昼食では、国東市食生活改善推進協議会国見ブロックの皆さんが、おにぎり、豚汁、おから、手づくりの漬物などの料理を振る舞いました。

暴力団排除のために 連携協定書

市民の安全で平穏な生活を守るために、市と市民が連携して暴力団の排除を推進することを定めた「国東市暴力団排除条例」が7月に施行されたのを受けて、12月26日(月)、市と国東警察署では、

「国東市が暴力団排除措置を講ずるための連携に関する協定」を結びました。協定書には、市が公共工事や事務・事業を行う際の対象者が暴力団関係者に該当するか警察に照会できることや、市と警察が情報交換や協議を行い、市が求めれば、警察が対処のための支援や協力をすることなどが盛り込まれています。これにより条例の実効性が高まることが期待されます。



(左から) 藤本村長、江藤署長、三河市長

国東警察署で行われた調印式では、江藤鉄夫国東警察署長と三河明史市長、藤本昭夫姫島村長が出席して各協定書に調印しました。